

平成28年9月17日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(36回)授業報告  
28.9.16 いきがい大学熊谷学園授業 熊谷市弥藤吾

「今日の授業は玉すだれの実技です。」という最初の言葉に、夏休み明けの学園1日目にもかかわらず受講者の皆さんの顔にキラリと光る好奇心を感じました。

今日は「いきがい大学熊谷学園」講義の一環で行う「ボランティア活動と実演」の授業を行う日で、受講者は「健康福祉科」および「ふるさとを学ぶ科」の37名が対象です。前回(28年1月)は受講生が卒業に際し、「校友会は楽しい事があります。皆さん卒業後は校友会に入って下さい。」との主旨で熊連協が開いた説明会の時に実現しました。

今回は正式な授業時で、報酬をいただく事でもあり、授業の目的が伝わるような内容になるようにと計画を練り臨みました。与えられた時間は、前半の午後1時30分から40分です。その後多くの施設での公演で実績のある2-1期ハーモニカクラブが行いました。

12時30分に懐かしい学び舎熊谷学園に集まり、お世話になった山司牧子さんに挨拶し、授業の進行を打ち合わせしました。控室305は「玉すだれ」を練習した部屋でした。

1時には隣接した農林研修センター2Fに移動しました。既に受講者の皆さんは午後の授業に向け大半は集まっており、マイクの設置、机の配置を行って定刻より早く1時25分、健康福祉科の代表者の開会の挨拶で授業が始まりました。

先ず村田がメンバーの紹介と「南京玉すだれクラブ」の発足の経緯とこれまでの活動状況を説明し、早速実技研修に移りました。メンバー4人に対し1班につき8~12人の受講生の4班に分かれ、「魚釣り竿」、「阿弥陀如来」および「瀬田の唐橋」の技を研修しました。受講生のほぼ全員の人が初めての経験で、最初は少し躊躇していましたが、「玉すだれ」の持ち方、持つ手の位置、「すだれ」を開くタイミングの要領を教えると、何回か練習した後にはそれぞれの技ができるようになり、大きな喜びの歓声があがりました。

実技研修予定の30分があっという間に過ぎてしまいました。授業の「まとめ」をしたあと、最後に高齢者施設で行い好評の「麦畑」を音楽に乗せて演じ、受講者の方々から曲にあわせた大きな手拍子をいただき、楽しい授業が終わりました。



南京玉すだれクラブ  
代表 村田 裕 滋 様

公益財団法人 いきいき埼玉  
理事長 茂木 皇 治

彩の国いきがい大学熊谷学園の講師について（依頼）  
彩の国いきがい大学の運営につきましては、日ごろ格別のご協力を賜り厚く  
お礼申し上げます。

この度は、熊谷学園の講師をお引き受けいただきありがとうございます。  
つきましては、下記のとおりご講義くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 テーマ 「ボランティア活動と実演(南京玉すだれクラブと絵手紙クラブ)」
- 2 日時 平成28年9月16日(金) 13時30分～15時
- 3 受講生 専攻課程(金曜コース)  
健康福祉科、ふるさとを学ぶ科 2科合同学習 37人
- 4 会場 めめま農業研修センター大会議室
- 5 薄謝 5,000円(税、交通費込み)
- 6 その他 両クラブからの御説明と実演については、別紙のとおり考えてお  
りますが、改めて御相談させていただきます。

